



どんな人と会えるかな？

おくすまこうえん 奥須磨公園ガイドマップ

☆あ秋き☆



どんないきものが見れるかな？

秋の奥須磨公園

太陽の光がやわらかくなり、涼しい風が公園を吹き抜けるようになると季節は秋です。

広場では夏の間、春の小さな草から、背の高い草に入れかわっています。

その草のかげからは、コオロギやキリギリスの音が聞こえてきます。

水辺にはペアになったアカネが卵を産みにやってみます。

コナラがドングリを落とし、モミジやハゼノキの葉が赤く色づく冬は目の前です。

	9月	10月	11月	12月
--	----	-----	-----	-----

イロハモミジ

紅葉

コナラ

ドングリ

ハゼノキ

紅葉

オカメコオロギ

リリリリ リリリリ リリリリ

マダラスズ

ジーン ジーン ジーン

クダマキモドキ

ヒッ ヒッ ヒッ

クサキリ

ジーーー・・・

ササキリ

ジキジキジキ・・・



注意

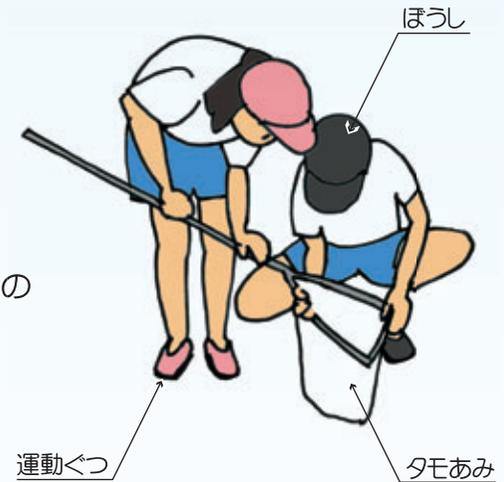
- つかまえたいきものは、つかまえた場所に逃がしてあげましょう。
- 深い池のまわりには柵があります。柵の中に入らないようにしましょう。
- ごみは持ち帰りましょう。
- 暑い日はのみものをのみましょう。

■服装

- ぼうし
- 運動ぐつ
- のみもの
- ハンカチ, タオル

■あるとよいもの

- タッパ
- 捕虫網
- タモあみ



運動ぐつ

タモあみ

◎お問合せ

財団法人 神戸市公園緑化協会 公園部 公園緑地課
〒654-0163 神戸市須磨区緑台
TEL FAX 078-742-2720
<http://www.kobe-park.or.jp/kyoukai/>
(みなさんからの声をあまちしております)



アメリカセンダングサ(キク科)
水辺が好きな植物で、黄色い花を咲かせます。秋には先がとがったひっつき虫をつくります。服にくっくと取るのが大変です。



コナラ(ブナ科)
コナラは神戸の山によくある木で、どんぐりをつくります。奥須磨公園では、アラカシやウバメガシもどんぐりをつくります。その形には、違いがあります。



ヒヨドリ(ヒヨドリ科)
奥須磨公園の林の中で、普通に見られる鳥です。体は灰色でほおの部分が茶色になっています。ピーヨ ピーヨ、ピイピイピイと騒がしく鳴きます。



モズ(モズ科)
頭と胸が茶色で、目の周りが黒くなっています。スズメくらいの大きさの鳥ですが、昆虫や小動物を食べる肉食です。キイ キイと鳴くのは縄張り宣言です。



チカラシバ(イネ科)
ブラシのような形の穂をつくります。種はひっつき虫で、服にくくと、繊維の奥へ奥へと刺さっていきます。動物に種を運んでもらって広がる工夫です。



イロハモミジ(カエデ科)
秋が深まると葉が赤く色づいていきます。昔から日本で親しまれてきた木です。ハゼノキも真っ赤に紅葉しますが、葉の形に特長があります。



ハラオカメコオロギ(コオロギ科)
オカメのように下ぶくれの顔が特長です。やや乾いた草地にいて、リリリリ、リリリリと鳴きます。



クダマキモドキ(キリギリス科)
高いところが好きなのが、木の上で生活し、地面には降りてきません。ヒツ ヒツ ヒツと小さな声で鳴きます。



マダラスズ(マダラスズ科)
ジーン ジーンと鳴きます。1cmもないくらいの小さな虫で、よく見ないとすることに気づきません。草が少ない乾いた地面を好みます。